



請願第3号

2025年4月4日

真光寺中学校の存続と生徒の意見表明の実施を求める請願

町田市教育委員会教育長 様

住 所

連絡先

氏 名

(請願の要旨)

真光寺中学校の存続と生徒の意見表明の実施を求めます

(請願の理由)

今回新たに発表された第2期計画において、真光寺中学校は2036年に鶴川第二中学校との統合が予定案として2年早くにくみこまれました。

当初の第3期として2033~2035年で建設、2036年に新校舎にて統合計画でした。

それが今回、2034年に統合し、それから約5年かけて2038年に新校舎完成という計画です。

真光寺中学校は、真光寺地域、お隣は町田市外になる町田市の外れに位置しています。ですので、真光寺中学校以外に通える公立学校はありません。そのような地域において、現在でも鶴川第四小学校まで30分の通学、山坂を歩くという小学校時代を過ごします。真光寺中学校に進学するととても近くなり、本当に楽になります。また、鶴川四小と真光寺中学の間にある住宅では、どちらの学校にも通いやすいようにと住宅購入されている世帯もあります。通学というのは、いつでも大きな問題点に他なりません。

そして、中学では部活動があり、午前授業と部活があるなどの際は、今は一度帰宅してからまた学校に行く、夏休みなどの際も部活に学校に行くなど、さまざま学校に行きます。鶴川二中に統合されるということは、2キロを毎日往復するということになります。これが、よりよい中学校生活のための計画なのでしょうか。

前述のように、鶴川第四小までもが遠い真光寺地域の現状があります。そして、少子化問題ということも現実です。そうであるのならば、将来、真光寺中学校を小中一貫校にするなどが、児童生徒、保護者にとっても望ましいのではないのでしょうか。

すべての学校をマンモス化することよりも地域の特色、学校の特色、小さい学校、大きい学校と選択できることも不登校問題などには必要な時代ではないのでしょうか。

また、学区域を広げるなど鶴川第二中学校とのバランスを適切に考えることも検討できるのではないのでしょうか。

先ずは、こういった計画案として生徒に対して説明し、意見を求めることも必要です。真光寺中学校の存続と生徒の意見表明の実施を求めます。